

危険な空き家の早期撤去を 近隣住民の被害を防ぐため、 市が早急に対策するべき

台風15号で屋根が破損したまま放置されている空き家がたくさんあります。度重なる雨で内部は腐敗が進み、崩落の危険も伴います。本来なら、所有者が解体撤去すべきですが、なかなか進みません。早急に市が対策してほしいと考えます。



放置された空き家

再生エネルギーを地域で利用する仕組み作りを 電力供給の仕組みを見直して、停電の長期化を防ぐ



ソーラー発電

昨年の台風で家屋等の被害とともに、停電の長期化が多く市民を悩ませ、私たちの暮らしがこんなにも電気に依存していたのかと思い知りました。館山市内には多くのソーラー発電があり、風力発電もあります。災害時にその電力を近隣で利用できる仕組みを作るべきです。

また、電線に架かっている樹木の伐採、管理を東電にお願いしたいと思います。

農家の再建に十分な支援を 農家への支援は手厚いというけれど、 多くの困難があり支援が必要

多くの農家も被害を受けました。ビニールハウス等の施設に対しては、国、県から9割補償されますが、共済保険に加入することが条件で、掛け金が必要です。ハウスが壊れたため、作物、苗などの経費すべてが損失で、次の作付けもままなりません。収入もない中で再建するために、さらなる支援が必要です。



強風でなぎ倒された農業用ハウス

私たちが今できること

家族と自分の命を守る備えと、 助け合える地域づくり

これを機に非常食や水を準備した家庭、窓ガラスに飛散防止フィルムを貼った家も多いと思います。一週間は暮らせる蓄えが必要です。

地区の役員の皆さんがとてもよく地域を把握してくださっていました。いざというときに助け合え

る地域づくりを市民一人一人が心がけていくことも大切です。

毎日の生活を見直して、 地球温暖化を防ぐ

台風や集中豪雨が年々激しくなる原因に地球温暖化があげられます。私たち自身が環境にやさしい生活を意識することも必要です。

おわりに



多くの被災者がまだ不自由な生活を強いられています。少しでも早く元の生活に戻れますよう、尽力していききたいと思います。